

令和7年度 事業報告書

（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）

1 浴場の概要

（浴場名、所在地）

市立浴場名	所 在 地
壬生浴場	京都市中京区西ノ京新建町12番地
久世浴場	京都市南区久世大築町66番地

（供用時間、供用しない日、営業日数）

市立浴場名	営業時間	定休日	営業日数
壬生浴場	16:00～22:00	日曜日	312日
久世浴場	16:30～22:30	日曜日	312日

（入浴料金）

区 分	入浴料金
大人（12歳以上）	550円
中人（6歳以上12歳未満）	200円
小人（6歳未満）	100円

※ 大人については、1冊につき10券片5、300円の割引回数券を販売

2 事業の実施状況及び施設の利用状況

（1）壬生浴場（総括、また入浴者数および入浴料収入増減について考えられる原因など）

入浴者数の減数、入浴料金の収入減の原因の一つとして、常連の利用者でもある高齢者が老人デイサービスセンターで入浴されていることや施設に入所されたことがあげられます。

また、「入浴料金が高い」「食料品をはじめとした物価高もあって、以前のように毎日利用できない」といった利用者からの声があります。さらに、新しく建設された壬生東市営住宅C棟への入居移転によって常連の利用者が自宅のお風呂で入浴を済ませるなど、入浴者数および割引回数券の販売実績を含めた入浴料収入減の一因となりました。

◎入浴者数

区 分	令和 7 年度	前年度 (令和 6 年度)	前年度比較
大人（12 歳以上）	6, 6 3 2 人	8, 6 8 6 人	-2, 0 5 4 人
中人（6 歳以上 12 歳未満）	6 5 1 人	7 2 8 人	-7 7 人
小人（6 歳未満）	2 7 3 人	3 5 7 人	-8 4 人
合 計	7, 5 5 6 人	9, 7 7 1 人	-2, 2 1 5 人

◎入浴料収入（割引回数券含む）

令和 7 年度	前年度（令和 6 年度）	前年度比較
3, 4 1 8, 3 0 0 円	4, 5 2 2, 4 9 0 円	-1, 1 0 4, 1 9 0 円

◎割引回数券収入

令和 7 年度	前年度（令和 6 年度）	前年度比較
5, 150 枚／2, 729, 500 円	6, 940 枚／3, 325, 000 円	-1, 790 枚／-595, 500 円

（2）久世浴場（総括、また入浴者数および入浴料収入増減について考えられる原因など）

久世浴場はサウナ・水風呂を常設していることもあって、地区内外から多くの利用者に活用されてきました。その結果として、これまで入浴者数および入浴料収入について水平的な維持をはかってきました。しかし、入浴料金の値上げ等の理由もあり、全体として入浴者数、割引回数券を含めた入浴料収入の減少につながりました。

そういった現況のなか、久世地域のママさんバレーボールチーム「体振久世クラブ」のつながりからバレーボールチーム「洛南ジュニア」の子どもたちが利用したことで、中人の入浴者数は増加しました。

◎入浴者数

区 分	令和 7 年度	前年度 (令和 6 年度)	前年度比較
大人（12 歳以上）	12, 7 2 3 人	14, 4 7 9 人	-1, 7 5 6 人
中人（6 歳以上 12 歳未満）	6 6 3 人	5 2 7 人	1 3 6 人
小人（6 歳未満）	2 7 9 人	5 0 6 人	-2 2 7 人
合 計	13, 6 6 5 人	15, 5 1 2 人	-1, 8 4 7 人

◎入浴料収入（割引回数券含む）

令和7年度	前年度（令和6年度）	前年度比較
6,969,750円	7,548,910円	-579,160円

◎割引回数券収入

令和7年度	前年度（令和6年度）	前年度比較
7,440枚／3,943,200円	9,670枚／4,636,300円	-2,230枚／-693,100円

3 浴場の運営状況

（1）施設運営の考え方

ア 管理運営の方針と理念について

京都市立壬生浴場・久世浴場は同和問題をはじめ、あらゆる人権問題の解決をめざすこと、また地区住民の公衆衛生、生活環境の改善と向上をはかることを目的として、設立当初から京都市ならびに浴場財団が運営をすすめてきました。この運営方針と理念のもと、引き続き、利用者同士のふれあいと憩いの交流拠点としつつ、あらゆる手段を講じて利用促進をはかるとともに、健康と福祉の増進に寄与していきます。

イ 浴場活性化および利用者数向上の取り組み

安定した経営基盤の構築と地区住民の生活基盤の安定と雇用の促進をはかり、さらに障害者就労支援の観点から、業務の一部を社会福祉法人みやこ（壬生浴場）、合同会社就労サポート梅の宮（久世浴場）に委託することにより、ノーマライゼーションの理念のもと、障がい者の社会参加と障がいのある人ない人も住みよい安心安全の地域づくりに貢献することを理念に運営をおこなってきました。

また壬生浴場では、平成28年度からは学区自治連が母体である、NPO法人あかしゃふれあいネットワークが取り組んでいる子ども食堂・こどもの居場所づくり事業に入浴事業を取り入れていただき、学生ボランティア、番台スタッフと連携して入浴マナーと「浴育」の向上、ひとり親家庭・貧困家庭等への負担軽減、利用者の増加など相乗効果を高めてきました。

久世浴場では、久世消防団をはじめ、ママさんバレーボールチーム「体振久世クラブ」やバレーボールチーム「洛南ジュニア」への声掛けをおこない、入浴者数の増加に努めてきました。

ウ 運営経費削減のための取り組み

運営経費の削減のためには毎月の光熱水費を点検することを肝要としてきました。シャワーやカランのお湯の漏水などがいないかをその都度、点検してきました。

今年度も漏水していたカランやシャワーハンドルの部品交換をはじめ、濾過機ポンプの取り替え工事を実施し、光熱水費の削減にむけて努力しました。その結果として、昨年度より光熱水費の抑制につながりました。

（２）施設の維持管理・運営体制

ア 建物・設備の維持管理方法

法定点検や定期点検は、法律や規則で定められた回数、点検方法などを共同企業体である（有）京都保全管理が担ってきました。故障などトラブルになりやすいボイラーについては、専門業者からレクチャーを受け、基礎的な対応ができるように技術向上に努め、軽微の修繕等については自社でおこなってきました。

今年度の浴場内および施設周辺などの清掃については、一部事業を委託している社会福祉法人みやこ（壬生浴場）、合同会社就労サポート梅の宮（久世浴場）から毎日５～６名のスタッフが施設内外の環境美化につとめました。

また、カランやシャワーハンドル、機器類の故障個所のリストを作成し、緊急度と予算、利用者からの要望等を総合的に判断して修繕をおこなってきました。今年度は大幅な改修工事として、久世浴場のサウナ室内の改修を実施しました。

イ 施設の修繕実績

【壬生浴場】

- ５月：濾過ポンプ交換
- ８月：シャワーハンドル交換
- ８月：脱衣場エアコンガスの充填
- １０月：シャワーハンドル交換
- １２月：シャワーハンドル交換

【久世浴場】

- ７月：サウナ室内改修
- ８月：女性脱衣場エアコン交換

ウ 職員の体制

【壬生浴場】

番台：アルバイト登録者 4 人

午後 3 時 3 0 分～午後 7 時 3 0 分：1 人

午後 3 時 3 0 分～午後 1 0 時 3 0 分：1 人

火夫：社員 2 人、アルバイト登録者 1 人

午前 1 1 時 0 0 分～午後 3 時 3 0 分：1 人

午後 3 時 3 0 分～午後 1 1 時 0 0 分：1 人

【久世浴場】

番台：アルバイト登録者 4 人

午後 4 時 0 0 分～午後 8 時 0 0 分：1 人

午後 4 時 0 0 分～午後 1 1 時 0 0 分：1 人

火夫：社員 1 人、アルバイト登録者 1 人

午前 1 1 時 0 0 分～午後 3 時 3 0 分：1 人

午後 3 時 3 0 分～午後 1 1 時 0 0 分：1 人

エ 環境面および衛生面への配慮

環境面については、地球温暖化防止のため蛍光灯をＬＥＤ化や省エネラベル商品の購入、節電や節水に心がけてきました。また、環境負荷を軽減するために、ＣＯ２の削減に努めて、環境モデル都市・京都にふさわしい事業所をめざしてきました。

衛生面については一部事業を委託している社会福祉法人みやこ（壬生浴場）、合同会社就労サポート梅の宮（久世浴場）が清掃作業を担い、番雑は営業時間中に浴室内のゴミなどの処理をおこなってきました。

また、インフルエンザや新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、脱衣場のイス・カゴ・ヘアドライヤー・マッサージ機など、こまめに清掃や消毒をおこなってきました。

（３）サービス向上の取り組み

ア 利用者の増加をめざした取り組みとして

シャンプー、リンス、ボディーソープの無料提供、タオルの無料貸出を実施することで、サービス向上をはかり、利用者の増加に努めてきました。

また、割引回数券を購入された利用者には粗品を贈呈し、サービス感をもてるよう企業努力に努めてきました。

イ 苦情の受付及び対応の方法

番雑スタッフが利用者とのコミュニケーションをはかり、利用者のニーズの把握に努めてきました。そのなかで、直ちに実現可能な案件については管理運営に反映させ、中長期的な案件については、計画性をもって取り組んできました。

緊急性を要する苦情については現場の浴場責任者が対応にあたり、事前協議、事後報告を遅滞なくおこなってきました（京都市にも事前・事後報告をおこなう）。その内容等について記録し、運営会議で情報と課題を共有化・教訓化としてきました。

ウ 研修、人材育成についての考え方

両浴場の特徴として高齢者の利用が多いことがあげられます。その観点から、新しく入社した番雑スタッフには高齢の利用者に積極的に声かけをおこない、転倒など事故の防止を未然に防ぐように指導するなど研修をおこなってきました。

また今日、社会問題となっているパワーハラスメントやカスタマーハラスメントなどについて適宜、スタッフ会議を実施してきました。

エ 高齢者や障がいのある方にとって利用しやすい浴場となるような取り組み

利用者の中で希望される独居高齢者には、連絡先などを登録していただき、3日以上、入浴に来られない場合、訪問するなど安否確認をおこなってきました。

雨天の場合、傘を必要とする日は手ぶらで入浴できるように、シャンプー、リンス、ボディーソープ、タオルなどを無料で常備してきました。

また、途中で雨天になった時は、傘の無料貸し出しをすること、帰宅途中で足を滑らせないように自宅まで寄り添って送ってきました。

オ 接遇・応対に関するサービスの充実策

「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」など、サービスマナーの徹底と入浴方法についてポスターを掲示してきました。

最近外国人利用者が多くなったこともあり、英語・中国語・韓国語・スペイン語などの言語で入浴マナー表を作成し、案内してきました。

（４）その他

ア 事故防止、非常災害時、緊急時への対応策

浴場責任者には、万一来て備えて防火管理者講習を受講した有資格者を配置しています。今年度も２人の従業員が防火管理者講習を受講し、資格を得ました。

毎年、集中豪雨や台風等により、久世地域に隣接する桂川の水位が異常に上昇することもあります。避難準備など区防災担当者等との連絡体制を整えてきました。

さらに、高齢の利用者が多いこともあって、事務スタッフが普通救命、久世浴場には普通救命・上級救命の資格を取得したスタッフがおり、緊急時に即対応できる体制を整えています。

イ 個人情報保護・情報公開についての考え方

社員の履歴書をはじめ、利用者から得た個人情報については本社事務室の施錠付ロッカーに保管するなどして厳重に管理しています。

さらに、個人情報の保護に関する法律、京都市情報公開条例、京都市個人情報保護条例などを事務所に置き、常に閲覧できるようにするとともに、社員に対してもその内容の理解を徹底しています。

具体的には、京都市立浴場の管理運営業務に関して知り得た秘密を漏洩し、自己の利益のために利用しないこと、その職務を退いた後においても同様であることを契約させる書面を交わしています。

ウ 市内中小企業への発注実績割合

市内の中小企業への発注実績は１００％（件数：８件）であり、第三者への発注はありません（共同事業体内での発注や特殊な技術等のため、メーカー１社しか契約できない案件は除く）。

４ 施設の管理業務、自主事業に係る収支決算

別紙のとおり

指定管理者の業務の収支状況					(単位：円)	
①指定管理業務の収支状況						
年 度	令和7年度 事業収支報告書					
	壬生浴場	久世浴場		Bグループ全体		
ア 収入状況			収 入 内 訳			
入浴料収入	3,418,300	6,969,750	現金 3,715,350円 割引回数券 6,672,700円		10,388,050	
委託費	26,325,000	32,175,000	指定管理料		58,500,000	
雑収入	1,732	2,117	銀行利息等		3,849	
					0	
収入計	29,745,032	39,146,867			68,891,899	
イ 支出状況			支 出 概 要			
給料手当	13,873,153	16,956,076	本社浴場担当業務員、火夫、番台		30,829,229	
法定福利費	116,413	142,282	社会保険料、労働保険		258,695	
福利厚生費	92,145	112,622	健康診断 など		204,767	
消耗品費	566,931	692,917	清掃道具、アメニティ など		1,259,848	
修繕費	1,043,512	1,558,433	ろ過ポンプ交換、サウナ室内改修 など		2,601,945	
光熱水費	6,128,935	12,457,660	水道代、電気代、ガス代		18,586,595	
保険料	47,925	58,575	車両保険、労災保険 など		106,500	
保守点検費	1,938,395	2,369,150	施設保守点検、ボイラー点検、定期点検など		4,307,545	
衛生管理費	1,562,889	2,183,564	清掃費、ごみ処理代、水質検査 など		3,746,453	
交通・通信費	404,797	494,756	電話料金、印刷費、通信費、ガソリン費など		899,553	
雑費	1,244,795	1,521,414	事務所経費 振込手数料 税理士報酬 など		2,766,209	
租税公課	2,072,330	2,532,851	所得税、法人税、府市民税		4,605,181	
					0	
					0	
					0	
					0	
					0	
					0	
支出計	29,092,220	41,080,300			70,172,520	
ウ 収支						
収支	652,812	-1,933,433			-1,280,621	
②自主事業の収支状況						
年 度	令和7年度 事業収支報告書					
	壬生浴場	久世浴場		Bグループ全体		
ア 収入状況			収 入 内 訳			
					0	
					0	
収入計	0	0			0	
イ 支出状況			支 出 概 要			
					0	
					0	
支出計	0	0			0	
ウ 収支						
収支	0	0			0	
①+②の収支合計		652,812	-1,933,433			-1,280,621